

第34回 日釣連グレ釣りトーナメント2位

大阪府釣連盟 田揚 清明



今回、第34回日本釣連盟グレ釣りトーナメントで運よく準優勝することができた大阪府釣連盟の守口荒磯クラブ田揚清明です。

最初に今回の大会を運営実行して頂いた各釣連盟の役員の皆様と協賛頂いた皆様そして川端渡船、大ちゃん渡船の関係者の皆様本当にありがとうございました。新型コロナウイルスの蔓延が始まり各大会の開催が出来なくなった3年間があったこともあり今回のグレ釣りトーナメントを開催してもらえたことに感謝以外の何物ありません。本当にありがとうございました。本題のトーナメントの方ですが私自身他の方々のグレ釣りとは何も変わらないオーソドックスな釣り方なので釣りの方の記事は他の方々にお任せします。

私が今回感じたことをお話したいと思います。今回優勝された和歌山釣連盟の土谷選手とはプライベートでも仲良くさせていただいております。土谷君と二人で宇和島に釣行したことがあるのですが、釣行初日に私が大きなウキで遠い距離を釣っていて大きいサイズのグレが釣れたことがきっかけで感度の良い小粒のウキだけではなく重量のある大きなウキも宇和島で開催されるトーナメントでは必要と感じホテルに帰る道中に釣具屋で早速大きいサイズのウキを購入し二日目の日振島では大型のグレを仕留めていました。これだけの名手でも常に研究し練習するんだなと感じたことがあります。歴史ある日本釣連盟グレ釣りトーナメントを2連覇できるということはこのように普段からトーナメントを意識した釣りをしている賜物だと思います。2連覇本当におめでとうございます。

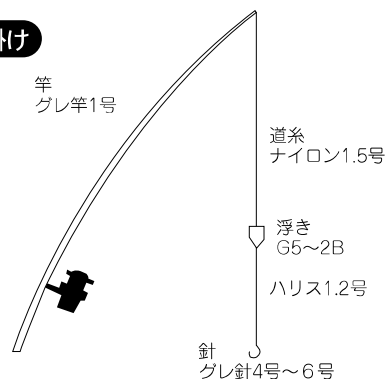
また、予選リーグで対戦した和歌山県釣連盟の池田選手も今年ダイワグレマスターズを関西勢で初制覇という快挙を成し遂げています。同じく予選リーグで対戦した三重県釣連盟の玉井選手もG杯グレ釣りトーナメントの全国大会

に出場しています。その他にもグレ釣りトーナメントの全国大会で上位に入る若手の選手が各府県の連盟のクラブに所属しています。日本釣連盟の層の厚さはなぜだろうと考えた時にやはり歴史かなと改めて感じました。私も含め30代のグレ釣りトーナメントに出場し上位入賞を目標の一つにしている選手は、現会長の生駒会長をはじめ大阪の西会長、兵庫山田会長、三重の打田会長、和歌山の森川会長、その他にも今回大会の運営をしてくださった先輩方の釣りを見て育ってきた選手ばかりです。日本釣連盟グレ釣りトーナメントでは選手を退いてもらい運営をしてくださっていますが、まだまだ全国大会で上位入賞される方々ばかりなのでこれからも私たちは、先輩方を目標に頑張っていきたいと思っています。

私は磯釣りは最高の趣味だと本当に思います。その趣味の中で社会人になって真剣に競い合うことが出来る趣味は、他にはなかなかないのではないかと思います。時代の流れで(クラブとか堅苦しい)と思う方々も多いと思いますが、色々な釣り場に連れて行ってもらえたりと、一人では経験しにくい事の方がかなり多いです。各連盟の人数が減少しているとは思いますが、一人でも多くの釣りが各クラブに入会され日本釣連盟がこれからも発展していくことを期待したいと思います。最後に広告・協賛を頂いている皆様本当にありがとうございます。そして大会を運営してくださった役員の皆様本当にありがとうございました。思い出に残る大会になりました。



仕掛け



第34回 日釣連グレ釣りトーナメント3位

大阪府釣連盟 黒江 謙吾



新大阪荒磯クラブの黒江です。今大会はコロナの影響で3年ぶりに開催された大会でした。先ずは初日通過できるか、せっかく参加できたのだから二日目も竿を握りたいという一心で策は有りませんでした、1試合1試合緊張して挑みました。

1試合目、対戦相手は和歌山の尾藤さん。場所は大石の船着きと表側に分かれて行いました。開始後20分程で1枚かけましたが続きませんでした。40分過ぎたくらいから足元でグレが見えだしたので何枚か追加できるといきや、自分の釣りでは無理でした。

前半戦1-0で場所替え、あーやばい、表側の尾藤さんはかなり苦戦していたので自分はひよっとしたらこのかわいいグレ1枚で終わるかも。

後半戦開始早々、後ろを振り向くと案の定、尾藤さんが掛けていました。そして数分後振り向くとまた掛けてる。このまま大差を付けられると思っていましたが、その後グレ達は姿を消したらしく、自分はその後たまたま通りかかったコナガちゃんを追加できました。結果2-3、重量勝ち(数負け)でした。ラッキーでした。

2試合目は兵庫の荒川さんとご一緒させていただきました。場所はオザキのロープ、まったりとした場所で、ロープの右左で1枚ずつの計2枚、荒川さんも苦戦されて、2-1で2勝目を頂けました。

3試合目は割亀のマナイタ、ご相手はヤングアングラーの多田尚樹君でした。この試合は明日への切符を手に入れる大事な一戦でした。

開始後40分程度経過して重たい仕掛けに変更、何とかの1投目にウキが消込んで40upをゲットできました。後半戦は釣果無しでした。一方多田君は後半1回バラシの後再び大きく竿を曲げて、やられた!と覚悟はしましたが上がってきたのは大きなチヌ君でした。結果は1-0、初日の結果は3勝で念願の二日目に残ることが出来ました。

そして、二日目はかなりウネリがあり使える磯が少なそうな状況でした。

準々決勝の対戦相手は和歌山の西さんでした。状況は非常に厳しく、お互い釣果ゼロでじゃんけんにより準決勝へ進むことが出来ました。

そして、準決勝お相手は同連盟の田揚さん、言わずと知れた強敵です。磯は昨日の一回戦と同じ大石の船着き。前半戦に勝負をかけたのですが、またしても自分のへたくそさを実感し、前半戦釣果無し。

後半戦、またしても昨日の再現か? 田揚君早々に1枚掛け、万事休すか?そう思っていたところ、磯際2ヒロでウキが猛スピードで消え、来た! と思った瞬間、高切れ〜グレではなかったかもしれませんが今回の一番の反省点となりました。

こんな感じで今回のトーナメントは終了しました。

よくよく考えると、3位と言いながら二日間でグレ5枚しか釣ってないやん! この2日間、そうそうたるメンバーの中で釣りができて本当に刺激的で楽しかったです。次回はもっと頑張りたいと思いました。

最後に、今回の運営担当された京都府連盟の皆様、及び役員の方々のご尽力と川端渡船様・大ちゃん渡船様の安全運航に心より感謝申し上げます。本当に2日間有難うございました。

仕掛け ロッド：シマノISO LIMITED 1.0号
レール：シマノBB-X テクニウム2500
ウキ：ソルブレ スラッシュM/L 0~B
道糸：東レ ブラックマスター 1.75号
ハリス：東レ スーパーL EXハイパー 1~1.5号
ハリ：鬼掛 極軽 4~5号